

1 主題名 寛容の心を持ち謙虚に他に学ぶ 【B－（9）相互理解・寛容】

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本題材は、中学校学習指導要領特別の教科道徳、内容項目 B－（9）「相互理解、寛容」に関するもので、「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」をねらいとしている。

人間は、それぞれ違う存在であり、見方や考え方もそれぞれである。中学校の段階では、自分の考えや意見と相手との差異を理解しつつ、自分の考えや意見を伝えることの大切さを感じる機会が増え、相手の立場に立ってその考えや意見を聴くことで、真の相互理解が可能になることを少しずつ経験をする。一方で、学年が上がるにつれて、ものの見方や考え方が確立するとともに、自分の考えや意見に固執する傾向も見えてくる。個性とは何かについて、正しく理解するとともに、他者の個性や立場を尊重し、相互に理解を深めていくことの大切さを感じ、理解し合いたいという意欲を育てることが大切だと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態 （総数 34 人。アンケート実施人数 30 人）

2021 年 7 月 16 日実施

自分の気持ちを相手に伝えることができますか。	できる・・・10 人 できない・・・20 人
自分の気持ちを相手に伝える自分なりの方法がありますか。	ある・・・8 人 ない・・・20 人 無回答・・・2 人
自分の考えと相手の考えが違ったとき、あなたはどのようにしますか。 （自由記述）	相手に合わせる・・・17 人 話題を変える・・・7 人 相手を説得する・・・5 人 話し合ってみる・・・4 人 相手の考えを聞いてから、自分の考えも伝える・・・3 人 その場から離れてみる・・・1 人

本学級は、明るく元気で、穏やかな生徒が多い。その一方で、相手の気持ちを考えずに思ったことを口に出してしまい、人間関係を上手く構築できない生徒も見られる。実態調査からは、自分の気持ちを相手に伝えることができる生徒はいるが、自分の考えと相手の考えが違ったときは、相手に合わせる生徒が多いということが分かった。自分の考えを上手く伝えられずに、相手の考えに合わせて行動する生徒が多い傾向にあることが分かる。

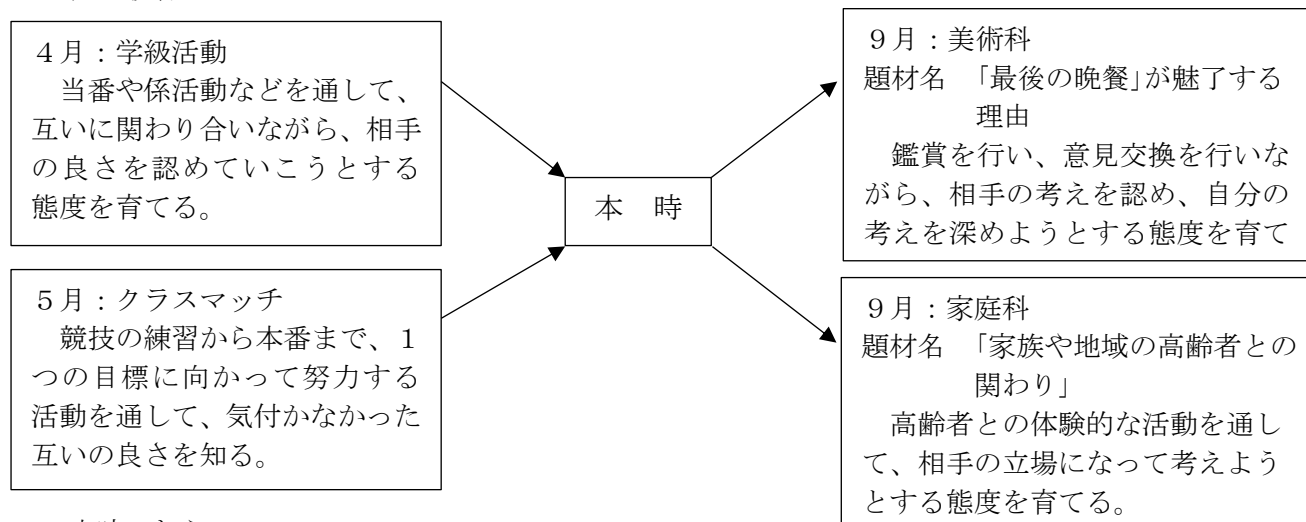
そこで、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、互いの違いが活きることのよさについて考えを深めさせていきたい。

(3) 資料について（資料名「ソーシャル・ビュー 見えない人と楽しむ美術鑑賞」 出典「光村図書」）

本教材は、目の見える人と目の見えない人が一緒に美術作品を鑑賞する方法（筆者は、ソーシャル・ビューと呼ぶ）を体験した筆者が感じ、考えたことについて述べられている教材である。

ソーシャル・ビューとは、一見、目の見える人が目の見えない人に美術作品について解説をしていると思われがちだが、互いが積極的に声を出してやり取りをしながら「みんなで見る」のであり、障害のある人を助けなければならないではなく、「いっしょにしよう」という関わり方である。他者といっしょに何かをするという関わりを通して、人それぞれ全く違う見方をすることや一人では自分の見方が絶対と思いがちになること、多様な側面が見えてくることなど一人一人の違いが生きてくるよさを考えることができる教材である。

3 他の教育とのかかわり



4 本時のねらい

他者との違いを生かしていく社会のよさについての多様な見方や考え方にふれ、自他の違いを生かすことのよさについて考えようとする心情を育てる。

5 指導過程

★UDの視点による手立て（評）評価

主な活動と発問	時間	形態	予想される生徒の反応	支援の手立てと評価
1 事前アンケートの結果を聞く。	3	一斉		自分の気持ちを相手に伝えることが難しいと感じており、相手に合わせてしまう人が多いことを確認する。
2 「ソーシャル・ビュー」を体験する。	7	班	- 自分で見たものを言葉で表現することが難しい。 - 赤色を説明するにも、「血液に近い赤」や「リンゴの赤」など、自分が感じているものと相手が感じているものとは、違いがあることが分かった。	★ 掲示物を活用しながら、ソーシャル・ビューのやり方を説明する。 - 実際に取り組んだ後、どのような感想をもったか数人に発表してもらい、伝えることの難しさを共有する。
2 資料「ソーシャル・ビュー 見えない人と楽しむ美術鑑賞」を読んで考える。	32	一斉		- ソーシャル・ビューを実施した感想を思い出させながら、発問について考えさせる。 - ソーシャル・ビューで考えたことを、社会全体のことへと発展させて考えさせるようにする。
○ 「ソーシャル・ビュー」には、どんなよさがあると思いますか。		個	- 目の見える人と見えない人が一緒に楽しむことができる。 - 色々な物の見方があると気付ける。 - 対話することによって自分の考えが深まりそう。	
◎ 社会で他者と共に生きていくためには、どんなことが大切だと思いますか。		個班	自分の考えと違っていても、認め受け入れていくこと。	◎ 他者との違いを生かしていく社会のよさについての多様な見方や考え方にふれ、自他の違いを生かすことのよさを

3 振り返り	5	個	- 自分の考えが絶対だとは思わず、相手の考えや立場を尊重すること。 - これからは、友達の考えをしっかりと聞き、自分の考えに活かしていきたい。 - 相手と関わることで、自分とは違う考えを知ることができる。その違いがお互いによいということを感じた。	考えることができている。 - 各自で意見をもった後に、班で意見交流し、他者との考えの違いを感じながら、考えを深めさせる。 - 授業で学んだことや感じたことをポートフォリオノートに記入させ、振り返りをさせる。
4 教師の説話	3	個		他者と何かを一緒にするという関わり方によって、一人一人の違いが生きることのよさについての話をする。